

## 選考委員賞

### 生き物に支えられている人間

三光小学校 目野 菜々実

みなさんは、生き物を大切にしていますか。実は、人間も生き物であって、生き物達は、たがいに、支え合って生きています。しかし今、生き物達が少なくなっています。すでにほろんでいる生き物もいます。少なくなっているのには6この理由があります。一つ、開発が進み、自然がすくなくなっている。二つ、生き物を取りすぎている。三つ、人間が植えた木をそのまま置いたままにしていたり、畑をほおっておいたりしている。四つ、もともとそこにいない生き物を持ちこむ。五つ、地球温だん化。六つ、水がよごれて、水が少なくなってきた。これが生き物が少なくなっている理由です。日本でも、すでに<sup>3155</sup>種の野生生物が、ほろびそうになっています。その一部をしようかいします。コウノトリ、アオウミガメ、メダカ、ツキノワグマ、オオワシなどです。

地球には、たくさん種類の生き物達がいます。その生き物がたくさんのかんきょうで、食べる、食べられる、対決する、いっしょに生きるといふかんけいで、バランスよく生きています。このようなことを、生態系といいます。人間もその一員として健康に生きていけるのです。そして、食べる食べられるのかんけいを、食物れんさといえます。

ですがある生き物が異常にふえて、ほかの動物も食べる食べ物を食べつくし、食物れんさが正常でなくなった時、食べ物もなくした動物はほろんでしまいます。

それでは、なぜいろいろな生き物が生きることが必要なのでしょうか。わたしたちは、たくさん生き物に支えられて生きています。植物は、人間がはいた二さん化したんそ、水をもらって成長し、かわりにきれいな水、空気を作ってくれます。そしてすべての生き物達が生きるためのきそを作っています。生き物は、わたしたち達が生きつづけるために必要な食料や、くすりや着る物の原料になります。それから、海岸の自然や、豊かな森林は、自然災害によるひ害をへらしてくれます。それに、自然を見たり感じたりすることは、心が楽しくなったり、美しい景色のもとになります。だから生き物があると、安心できます。楽しくなります。かいてきになります。それにわたし達人間に、命の大切さを教えてくれます。

さて、最初の問いの答えは、なんですか。大切にしていますか。それともすぐ植物をからしたり、動物達を死なせたりしていませんか。そんな人はこれからは、生き物をもっと大切にしてください。大切にしている人も、それがおとろえないようにつづけてください。